

荻原幸宏

参加学会：第 99 回北米放射線学会 99th Radiological Society of North America

開催日程：2013 年 12 月 1 日-6 日

開催場所：シカゴ、アメリカ

発表演題：CT classification of T1 lung adenocarcinoma by the size of solid component: correlation with pathological findings

シカゴの McCormick Place で開催された第99回北米放射線学会(Radiological Society of North America)に参加してきました。世界で1番大きな放射線学会で、例年この会場で開催され、今年の参加者は53169人でした。

私は、T1肺癌症例のCTにおける充実部分のサイズとリンパ節転移や局所浸潤などの病理所見の対比について電子ポスター発表を行い、韓国の先生から多くの質問をいただきました。

シカゴは大都会で市内はビルが立ち並ぶにぎやかな所ですが、会場はミシガン湖のそばの比較的静かな場所にあり、近くにシエッタ水族館という大きな水族館があります。冬のシカゴは気温の低さと風で寒さが厳しいとのことですが、訪れた時は幸いなことにあまり寒くありませんでした。

